

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	国語・国語総合	単位数	2単位	履修学年	1年
目標	高校国語に慣れる。国語を適切に表現するために、基礎的な語彙の習得・表現能力を養う。それによって、伝え合う力を向上させる。国語を通じて思考力及び心情を豊かにする。読解能力を高めることにより、他者への共感を得る能力を育む。また、日本文化に対する関心を深め、言語を尊重する態度を育てる。				
使用教材	使用教科書 明解国語総合 三省堂				
評価の観点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く能力)	(書く能力)	(読む能力)	(知識・理解)
	観点・積極的に学習活動に参加できること。 評価・授業の発問や提出物も評価の対象となる。	観点・論理的思考、心情を理解できる。 評価・単元ごとの小テストで確認する。	観点・作文、短歌、俳句等に取り組むことが出来る。 評価・作品の提出とともに総合的に評価する。	様々な時代の文体を、的確に読み取る。 評価・単元ごとに、要約問題を小テストする。	観点・語彙の知識および修辞の理解を出来る。 語彙力育成する教材を使用し小テストを行う。
評価方法	定期考査および、各単元ごとの小テストを実施する。また、提出物は原則として得点化し、評価する。				
学期	学習内容	学習のねらい			
1	現代文 随想『希望』 現代文 小説『一瞬を生きる』 現代文 評論『水の東西』	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の持つ魅力について学ぶ。 重要漢字の書き取りをおこなう。単元終了後、小テストを実施する。 ・老人と若者の二人の心情や生き方について考える。 語りの視点を意識しながら、人物像を明らかにする。 単元終了後、小テストを実施する。 ・文化は、地域や民族によってそれぞれ異なる。水に着目して文化を論じた評論文を読み、人間のものの感じ方について考える。 単元終了後、小テストを実施する。 			
2	古文 『徒然草』・「公世の二位のせうとに」 「高名の木登り」 古文 『枕草子』－「五月ばかりなどに」 「雪のいと高う降りたるを」	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いとその読み方について学ぶ。50音図を理解し動詞の活用の種類を学ぶ。（小テストを実施する） ・現代語訳の仕方について学ぶ。 ・形容詞・形容動詞の活用を学ぶ。 ・助動詞（過去・完了）を学ぶ。 ・係り結びの法則について学ぶ。 ・作者清少納言について調べ、レポートにまとめる。（得点化し評価する） 			
3	漢文 「漢詩の世界」 「静夜思」「江南春」「登岳陽楼」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の詩型を理解し、返り点の種類と用法について学ぶ。（小テストを実施する。） ・音読を繰り返しおこなう。訓読文に直す。語句の意味を調べ、文章の内容を理解する。（小テストを実施する。） 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期、定期考査以外に小テストを実施し、単元ごとの理解度をはかりながら授業を進めていく。 小テストの到達度が不十分と判断される生徒に関しては、補習をおこなう。 				